

令和 6 年度の教育に関する 事務の点検及び評価報告書

令 和 7 年 12 月

糸魚川市教育委員会

目 次

I 教育に関する事務の点検及び評価の実施概要	
1 点検と評価の趣旨	… 1
2 点検及び評価の方法	… 1
3 学識経験者の知見の活用	… 2
II 教育委員会の運営及び活動状況	
1 教育委員会の構成	… 3
2 教育委員会会議開催状況	… 3
3 総合教育会議	… 3
4 教育委員会の主な活動状況	… 3
III 施策の点検・評価	
第1 子どもを産み育てやすい環境の整備	
1 妊娠出産支援と親子の健康増進	… 5
2 子育て支援の充実	… 12
3 子どもと子育てにかかる連携の推進	… 16
第2 0歳から18歳までの子ども一貫教育の推進	
1 就学前教育の充実	… 18
2 質の高い学校教育の推進	… 21
3 学校教育環境の整備	… 28
第3 生涯学習の振興	
1 社会教育の振興	… 31
2 スポーツの振興	… 38
第4 文化の振興	
1 芸術文化の振興	… 43
2 歴史・文化の継承と活用	… 48

I 教育に関する事務の点検及び評価の実施概要

1 点検と評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

糸魚川市教育委員会では、教育に関する事務の点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付して報告することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政に対する市民の信頼の向上を図ります。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の方法

（1）点検及び評価の対象

点検及び評価は、糸魚川市教育委員会が執行している事務・事業のうち、「第 3 次糸魚川市総合計画 基本計画」に掲げた施策を中心に行いました。

（2）点検及び評価の方法

評価の実施方法については、「第 3 次糸魚川市総合計画 基本計画」の中で

掲げる指標の達成状況や、対象年度の取組内容などを踏まえながら、各事業を3段階で評価し、評価理由と今後の課題解決に向けた取組について示し、点検及び評価を行いました。

評価	評価基準
順調	目標のとおり達成した、又は計画通り進んでいる。
おおむね順調	概ね目標を達成した、又は目標達成に向け進んでいる。
遅れている	目標を下回った、又は計画に遅れが生じている。

3 学識経験者の知見の活用

法の規定に基づく、教育に関し学識経験を有する方からの知見の活用として、協議会を開催して、施策の取組に関しての総合的な評価としてご意見をいただき、今後の取組に活用しています。

教育委員会協議会の開催

日 時：令和7年10月1日 午前9時30分～午後5時

会 場：糸魚川市役所 203・204会議室

学識経験者：伊野 啓一 氏

教 育 長：靄本 修一

教 育 委 員：谷口 一之、楠 愛、秋山 伸宏、松田 早央里

事 務 局：教育次長、こども課長、こども教育課長、生涯学習課長、

文化振興課長

II 教育委員会の運営及び活動状況

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行します。定例会や臨時会のほか、協議会を開催しています。

1 教育委員会の構成

令和7年3月31日現在

職名	氏名	任期
教育長	靖本 修一	令和7年1月1日～令和9年12月31日
教育委員 (教育長職務代理者)	谷口 一之	令和4年5月20日～令和8年5月19日
教育委員	齊藤 里沙	令和3年5月20日～令和7年5月19日
教育委員	楠 愛	令和5年5月20日～令和9年5月19日
教育委員	秋山 伸宏	令和6年5月20日～令和10年5月19日

2 教育委員会会議開催状況

定例会を12回、臨時会を5回開催し、議案45件、報告58件、協議1件について審議等を行いました。議案45件の内訳は、人事案件6件、予算に関する意見の申出8件、条例・規則等の改正7件、その他24件となっています。

また、協議会を開催し、令和5年度の教育に関する事務の点検及び評価を行いました。

3 総合教育会議

市長と教育委員会が協議あるいは調整を行う場として「総合教育会議」が開催されました。下記議題等について協議し、意見交換を行いました。

開催年月日	会場	議題等
令和7年2月10日	市役所会議室	第1回 ・不登校対策について

4 教育委員会の主な活動状況

(1) 教育関係会議への出席

- ・全県教育長会議（新潟市：4月15日）
- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会【書面決議】

- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会（上越市：7月19日）
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（新潟市：10月25日）
- ・上越地方三市教育委員会連絡会総会（妙高市：11月5日）

(2) 学校等訪問

- ・7月3日 糸魚川小学校、大野小学校、根知小学校、ひすいの里総合学校
- ・7月8日 能生小学校、南能生小学校、中能生小学校、能生中学校
- ・7月10日 田沢小学校、青海小学校、糸魚川中学校、青海中学校
- ・7月12日 磐部小学校、下早川小学校、大和川小学校、糸魚川東中学校
- ・7月16日 西海小学校、糸魚川東小学校

(3) 式典等への出席

- ・4月1日 転入、新採用教職員辞令交付歓迎式
- ・4月1日 教育委員会年度始めの式
- ・4月8日 糸魚川中学校入学式
- ・4月9日 能生小学校、大和川小学校、西海小学校、糸魚川小学校、能生中学校、糸魚川東中学校入学式
- ・4月11日 ひすいの里総合学校入学式
- ・4月21日 糸魚川市博物館開館30周年記念式典
- ・5月24日 中学生芸術鑑賞教室
- ・7月9日 教育懇談会
- ・10月9日 キャリアフェスティバルいといがわ
- ・11月1日 市小・中・特別支援学校音楽発表会
- ・11月4日 新成人を祝う集い
- ・11月10日 ジオパーク学習交流会
- ・11月23日 早寝早起きおいしい朝ごはん事業市民公開講座
- ・11月23日・24日 ヒスイシンポジウム
- ・12月26日 高校魅力化事業活動成果報告会
- ・1月31日 教育懇談会
- ・3月3日 能生中学校、糸魚川東中学校、糸魚川中学校、青海中学校卒業式
- ・3月21日 下早川小学校、根知小学校卒業式
- ・3月24日 南能生小学校、青海小学校卒業式

(4) 先進地等の視察

- ・7月24日 義務教育学校視察（富山県）

III 施策の点検・評価

第1 子どもを産み育てやすい環境の整備

1 妊娠出産支援と親子の健康増進

- ① 安心して出産・育児ができる環境づくり
- ② 子どもと保護者の健康の増進

【基本方針】

安心して出産、育児ができる環境を整えるとともに、生涯を通じた健康づくりの土台を幼少期までに定着させ、子どもと保護者の健康増進を図ります。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
市内病院出産割合	28.6%	55.0%	60.0%
健康状態がよい中学生の割合	93.5%	86.0%	88.0%

(2) 施策の方向

ア 安心して出産・育児ができる環境づくり

- 関係機関と連携して、安心して出産できる医療環境を整えます。
- 乳幼児健康診査等で保護者の育児不安をつぶさに把握し、支援が必要な親子には継続的に関わるなど、保護者に寄り添った支援に努めます。
- マタニティスクール、育児教室、相談会等を開催するほか、個別の訪問を行い、保護者の気持ちに寄り添った相談体制を整えます。
- 発達段階に応じた愛着形成の大切さについて啓発します。また、温かい心での子どもの見守りとしつけを地域ぐるみで進めます。
- 妊娠・出産を希望する夫婦が安心して不妊・不育治療等を受けられるよう、精神的負担や経済的負担の軽減に努めます。

イ 子どもと保護者の健康の増進

- 乳幼児健康診査の高い受診率を維持し、疾病の早期発見や健康の保持増進に努めます。
- 発達に不安を抱える子どもと保護者を早期に発見し、適切な支援につなげます。
- 「早寝早起きおいしい朝ごはん運動」を推進し、幼少期から生活リズムを定着させ、生涯を通じた健康づくりにつなげます。

- 家庭ぐるみの食生活や生活リズム改善に取り組みます。
- 親子での調理体験等を通じて「食」への関心を持つ子どもを育てます。
- 子どもの心身の健康に欠かせない外遊びやふれあい遊びなどの体験を積極的に推進します。
- 電子メディアに頼らない子育てによって、コミュニケーション能力、運動能力、自己コントロール能力を育むよう努めます。
- 関わりが不可避な電子メディアについて、家庭での幼少期からの適切な使用を促します。

(3) 事業内容（主要事業）

ア 妊娠アシスト事業

妊娠届出時の面接相談やパパママタニティスクールを実施し、出産や育児に関する知識や技術を身につけ、安定したマタニティライフを送ることができるよう取組を行いました。

さらに、こども家庭センター（こども支援室）では、妊娠から出産後までの切れ目のない支援の仕組みづくりを進めました。

また、不妊症治療・不育症治療に伴う治療費の一部助成を行い、経済的負担の軽減に努めました。

【妊娠アシスト事業の利用状況】

区分	令和5年度	令和6年度
パパママタニティスクール参加者数	58人	61人
不妊症治療費助成件数（うち妊娠成立件数）	36件(15件)	48件(22件)

イ 親子の絆応援事業

0歳からの愛着形成推進のために2か月児訪問、すこやか育児相談を開催し、具体的な育児方法の助言等を行いました。

中学生を対象に未来のパパママ応援事業や産婦人科医師、助産師を講師とした性教育を実施し、生命誕生の奇跡や命の大切さについて学ぶ機会を提供しています。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】

区分	令和5年度	令和6年度
母乳育児率（4か月未満児）	35.6%	35.6%
未来のパパママ応援事業	延312人	延313人
正しい性教育普及事業	延309人	延229人

ウ 妊産婦支援事業

妊娠婦とその家族が安心して出産・育児ができる環境づくりのため、様々な支援を切れ目なく行いました。

妊娠中や出産・育児に関する不安など、妊娠婦の気持ちに寄り添う相談支援や産前産後ヘルパー派遣事業の実施により、身体的・精神的負担の軽減を図るなどの支援を行いました。

また、妊娠婦健康診査費用助成は回数無制限で助成し、妊娠婦医療費助成は自己負担額の無料化、出産時宿泊費助成などで経済的負担の軽減を行いました。

【産後の支援の現状】

区分	令和5年度	令和6年度
この地域で子育てをしたいと思う親の割合（3歳児健診時）※「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合	91.3%	91.6%

エ 産前・産後サポート事業

産前産後の不安や孤立感の解消を目的に、仲間づくりや妊娠中、育児に関する相談支援を行いました。

マタニティサロン、すくすく赤ちゃん広場に加え、令和6年度からはデイケアHello(ハロー)も実施し、親子の愛着形成を促すメニュー・リラックス効果のあるメニュー、産婦同士の交流などを行いました。

【産前・産後サポート事業の参加状況】

区分	令和5年度	令和6年度
産前・産後サポート事業の参加人数	延151人	延718人

オ 産後ケア事業

出産直後から心身のケアや育児サポートを受けられる支援として、訪問型・通所型・宿泊型の産後ケアを行いました。授乳や沐浴等の育児相談や産後の健康、乳児の発育等に関する保健指導を行いました。

また、気軽に産後ケアの申請や予約ができるようにシステムを導入しました。

【産後の支援の現状】

区分	令和5年度	令和6年度
産後1か月程度、助産師等からのケアを十分に受けることができたと感じる割合	91.8%	96.2%

カ 乳幼児すこやか事業

乳幼児健診等を通じて、子どもの心身の健康状態の確認や生活改善のための助

言を行い、保護者が不安なく育児できるよう、保護者に寄り添った相談の機会となるよう努めました。

また、発達障がいや集団生活で困難をきたす可能性のある子どもを早期に発見し、適切な支援につなげられるように5歳児（年中児）発達相談会を実施しました。

歯科健診におけるむし歯の早期発見、幼児を対象としたフッ化物塗布及び市内幼児・小中学生を対象としたフッ化物洗口の実施等により、むし歯予防に努めています。

【乳幼児すこやか事業の状況】

区分	令和5年度	令和6年度
3歳児健診受診率	100.0%	99.4%
5歳児（年中児）発達相談会利用者割合	24.7%	23.6%
中学生一人平均むし歯本数	0.30本	0.28本

キ 早寝早起きおいしい朝ごはん事業

マタニティスクールや乳幼児健診、幼稚園・保育園での健康教室などを通じて、「早寝早起きおいしい朝ごはん」の重要性や「電子メディアの健康への影響」を啓発しました。特に9歳（小学3年生頃）までの規則正しい生活リズムの定着に重点を置いています。

また、早寝早起きおいしい朝ごはん事業の市民への周知として、市民公開講座を隔年で開催しています。

【小学1～3年生の生活リズムの現状】

区分	令和5年度	令和6年度
① 21時30分までに布団に入る割合	68.0%	71.3%
② 朝ごはん3品以上の割合	68.3%	68.9%
③ 電子メディア総使用時間2時間以内の割合	55.8%	48.2%

ク 親子食育推進事業

妊娠期から「おいしい朝ごはん（おかずのある朝ごはん）」の重要性を啓発し、幼児期以降は、親子キッズ・キッチン等の調理体験を通じ、「食」への関心が高まるよう取組を進めています。

また、各種教室や個別栄養相談等を実施し、栄養バランスのとれた食生活の実践について支援を行いました。

【親子食育推進事業の状況と園児の肥満出現率】

区分	令和5年度	令和6年度
乳幼児食事指導参加者数	800人	741人
ステップアップ離乳食講座参加者数	29組	23組
ハッピー育児会参加者数	33組	28組
親子キッズ・キッチン参加者数	501人	436人
親子キッズ・キッチン満足度	100%	97%
園児の肥満出現率	5.1%	4.8%

(4) 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア 妊娠アシスト事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ パパママタニティスクールは昨年度より参加者数が増加しており、妊娠だけでなく家族で出産、育児について学ぶ機会となりました。 ・ 妊娠から出産後までの切れ目のない支援のために、妊娠届出時面談や妊娠後期電話で妊娠、出産に関する必要な情報提供を行い、安心して出産を迎えるよう、不安や心配が軽減するような相談対応に努めました。 		
イ 親子の絆応援事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月児訪問や、すこやか育児相談等で母乳育児支援を継続し、母乳育児率は前年比と同水準でした。 ・ 正しい性教育普及事業、未来のパパママ応援事業の開催により、幅広い世代の方に愛着形成の重要性を理解していただきました。 		
ウ 妊産婦支援事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産前産後ヘルパー派遣事業の利用人数は概ね横ばいで推移し、1人当たりの利用時間数は昨年より減少しました。また、母乳相談費用助成と出産時宿泊費助成の利用人数・件数は、ともに前年と同水準でした。 ・ 出産時タクシー費用助成の事前申請人数は前年を上回りニーズの高さが伺えましたが、利用実績はありませんでした。 ・ 令和5年10月から現物支給を開始した妊娠婦医療費助成は、利用件数・金額とも前年を上回り、医療機関受診にかかる妊娠の経済的負担の軽減に繋がっています。 		

エ 産前・産後サポート事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> マタニティサロンとすくすく赤ちゃん広場の参加人数が前年度から増加したことにより、新規のデイケアHiloには約500人の親子の参加があり、より多くの方に妊娠や子育てに関する正しい知識や仲間づくりができる環境を提供することができました。参加者のアンケートでは9割以上が「また参加したい」と回答し、満足度も高くなっています。 ニーズや満足度の高さからリピート利用される方も多いため、新規の妊娠婦も利用しやすいように会場や予約受付方法の工夫にも取り組みます。 		
オ 産後ケア事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 市内で訪問型、通所型、宿泊型の全てが利用でき、利用者の状況やニーズに合わせて選択できる体制が整っています。 令和6年度からオンラインでの利用申請や予約ができる体制となり、利便性が向上したことで申請者や利用者が増加しました。 産後ケアが必要な方が、必要とする時に利用できるように産前からの制度の周知や申請の受付を行っています。 		
カ 乳幼児すこやか事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健康診査の受診率は高く、疾病の早期発見や健康の保持増進等に貢献しています。 はつたつ応援事業として5歳児（年中児）発達相談会などを行うことにより、保護者の不安軽減や就学に向けての途切れない支援に役立っています。 健康教室等での歯・口腔の健康に対する意識啓発、フッ化物塗布、フッ化物洗口の実施により、むし歯有病率、1人平均むし歯本数は低い水準を維持しています。 		
キ 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 健康教室や家庭での取組等により一定の水準を維持しています。また、幼稚園・保育園、小中学校など関係機関と連携することにより、規則正しい生活リズムが定着してきています。 電子メディア総使用の長時間化は健康への影響があり、コミュニケーション能力、運動能力等を育むよう、電子メディアに偏らない遊びの啓発や睡眠の重要性をより推進していきます。 		

ク 親子食育推進事業	評 価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none">・ 親子キッズ・キッチンは園児の自主性を尊重し、保護者はサポート役に徹するよう工夫をしながら実施しており、アンケート結果から高い満足度を維持しています。・ 園児の肥満出現率は、昨年度に比べ若干減少しています。乳幼児健診や食育教室等で栄養バランスのとれた食生活について啓発し、肥満度+15%以上児の保護者に対しては、個別栄養指導を実施しています。		

2 子育て支援の充実

- ① 子育て家庭を支える取組の推進
- ② 保育サービスの充実
- ③ 子育てと仕事の両立支援
- ④ 地域で担う子育て支援

【基本方針】

多様なスタイルの子育てと仕事が両立でき、子育て世代が、子育てに希望と自信を持って子どもを産み育てたいと思えるよう支援し、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6) ※	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
子育て環境の満足度	33.9% (R4)	60.0%	70.0%

※現状(R6)はアンケート未実施によるもの

(2) 施策の方向

ア 子育て家庭を支える取組の推進

- 育児相談や子育てサークルの支援等の中心となる子育て支援センターの事業内容を充実するとともに、子育て世代の居場所の充実を図ります。
- 発達支援センターめだか園では、発達や成長に不安のある子どもと保護者に対する適切な相談や支援を行い、子どもの発達を促します。
- 虐待等の発生予防や早期発見に努め、子どもに関する様々な相談に適切に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心に継続的に必要な支援を行います。
- 保育料の軽減や子ども医療費の助成などにより、子育てに係る保護者の経済的負担の軽減を図ります。

イ 保育サービスの充実

- 需要が増加している0～2歳の保育の場を確保するため、既存の保育園に加え、認定こども園や地域型保育事業等、多様な選択ができる環境整備を進めます。
- 一時保育や時間外保育、病児・病後児保育等、個々の要望に柔軟に対応できるように事業の拡充を図ります。

ウ 子育てと仕事の両立支援

- 育児をしながら働く保護者への育児支援の各種サービスの充実を図るとともに、事業所に対して子育て世代に配慮した就労環境の整備を働きかけます。

- 男性の育児の関わりや、子育てと仕事を両立する女性への理解を呼びかけます。

エ 地域で担う子育て支援

- 子育てに関する様々な援助を求める世代と援助できる世代間の交流拡大を図り、地域全体で子育て中の家庭を支える体制や子育てしやすい環境整備を推進します。

(3) 事業内容（主要事業）

ア 子育て支援センター運営事業

未就園児とその保護者にとって交流の場としての機能を果たし、育児相談がしやすい環境となるよう努めました。

【子育て支援センターの利用状況】

区分	令和5年度	令和6年度
利用者数	9,506人	9,028人

イ 子ども医療費助成事業

0歳から高校卒業年齢までの子どもの医療費を助成しました。

※令和5年10月から子どもの医療費（通院、入院、調剤）はすべて無料

【子ども医療費助成の実施状況】

区分	令和5年度	令和6年度
助成件数	59,859件	59,378件
助成給付額	153,185,600円	155,440,851円

ウ 特別保育事業

・一時保育事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児（未就園児）を対象に、1日単位で利用できる保育を実施しました。

【一時保育の年間利用児童数】

区分	令和5年度	令和6年度
公立保育園（2園） 中央、寺地	358人	332人
私立保育園（5園） はやかわ、いくみ、能生、おひさま、ひまわり	666人	875人
合計	1,024人	1,207人

エ 休日お助け保育事業

就労等により保護者が休日に家庭で保育できない場合に、ヴィラオレッタキッズランドで保育を実施し、保護者に対してその費用の一部を助成しました。

【休日保育の年間利用状況】

区分	令和5年度	令和6年度
利 用 日 数	78日	82日
総 利 用 者 数	253人	403人

オ 病児保育事業

育児と仕事の両立支援のため、生後6か月から小学6年生までの児童で、病気中又は病気の回復期にあって、家庭での保育ができない児童を一時的に預かる病児・病後児保育を実施しました。※令和5年11月から病後児保育開始

【病児・病後児保育の年間利用状況】

区分	令和5年度	令和6年度
延利用児童数（病児）	720人	730人
延利用児童数（病後児）	131人	436人

カ 学童保育事業

仕事等で昼間保護者のいない家庭の小学生を対象に、市内9か所の放課後児童クラブ室を開設し、放課後などに遊びを中心とした活動で子どもたちを育成し、安全で安心な生活の場を提供しました。

【学童保育の年間利用状況】

区分	令和5年度	令和6年度
登録児童数	515人	560人
延利用児童数	39,100人	40,128人

キ ファミリーサポートセンター事業

地域全体で子育てをサポートする取組として、会員の募集に努め、事業実施しました。

【ファミリーサポートセンターの利用状況】

区分	令和5年度	令和6年度
提 供 会 員	19人	20人

依頼会員	51人	61人
年間活動回数	68回	73回

(4) 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア 子育て支援センター運営事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共働き等で早期に保育園へ預ける保護者が増えていますが、利用者はほぼ横ばいです。 		
イ 子ども医療費助成事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費の無料化により、市民の満足度は高いと捉えています。 		
ウ 特別保育事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一時保育事業の利用者数は微増であり、保護者ニーズに対応しています。 		
エ 休日お助け保育事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者ニーズにより、利用者数は前年度より増加しています。 		
オ 病児保育事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数の変動に応じた安定運営のための支援などを行い、適切に運営しています。 		
カ 学童保育事業	評価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事と子育ての両立を支援する制度として利用者数は増加しており、設備面での充実を図りつつ、長期休暇中の弁当提供など新たなサービスも試行実施しています。 		
キ ファミリーサポートセンター事業	評価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員数は横ばいとなっており、利用者が偏る傾向があります。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域全体で子育て世帯を支えるために有効な事業であることから、事業周知を図り、会員・利用率の増加に努めます。 		

3 子どもと子育てにかかわる連携の推進

- ① 子ども・子育て支援体制の充実
- ② 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進
- ③ 課題を抱える家庭への連携した対応

【基本方針】

子どもにかかわる機関の連携を図り、一貫した教育方針と切れ目のない支援で子どもを育てます。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6) ※	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
子育てをする上で気軽に相談できる人がいる割合	90.3% (R4)	95.0%	97.0%

※現状(R6)はアンケート未実施によるもの

(2) 施策の方向

ア 子ども・子育て支援体制の充実

- 市民が子育てについて理解と認識を深め、家庭、地域、幼稚園・保育園、学校等が相互に協力し、地域社会が一体となった子育てを推進します。

イ 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進

- 関係機関が情報を共有し、共通理解を深め、切れ目のない支援に取り組みます。
- 園から小学校への円滑な接続のためのカリキュラム編成や実践への取組、中学生の保育実習など、幼稚園・保育園、学校の一層の連携と協力を推進します。

ウ 課題を抱える家庭への連携した対応

- 関係機関との情報共有と連携により、個々の家庭環境に応じた支援を図ります。

(3) 事業内容（主要事業）

ア 子ども一貫教育推進事業

【教育懇談会の開催状況】

通算回数 (実施日)	テーマ・演題・講師	対象者
第27回 (7月9日)	○テーマ「愛着形成と子どもの発達」 ○報告①「第3期子ども一貫教育基本計画の概要」 糸魚川市教育委員会事務局こども教育課 参事 小川 豊雄 ○報告②「愛着を形成するための0歳からの取組」	保・幼・小・中・高の保護者、教職員の代表、学校運営協議会委員、公民館

	<p>糸魚川市教育委員会事務局こども課 親子健康係長 飛彈野 郁</p> <p>○講演 演題「愛着形成と子どもの発達」 上越教育大学大学院 特任教授 加藤 哲文 氏</p> <p>○グループ協議 テーマ「愛着を形成するために保護者・地域・学校ができること」</p>	長、主任児童委員、市役所職員
第28回 (1月31日)	<p>○テーマ「糸魚川市の部活動の地域移行とこれから の部活動の在り方」</p> <p>○報告 「糸魚川市の部活動の地域移行の現状について」 糸魚川市教育委員会事務局生涯学習課 主査 作本 雅之</p> <p>○講演 演題「中学校部活動の地域移行と、これから の中学校部活動の在り方」 上越教育大学大学院 特任教授 直原 幹 氏</p> <p>○グループ協議 テーマ「中学校の部活動を切り口にして、子どもたちを地域でどのように育てていくか」</p>	保・幼・小・中・高の保護者、教職員の代表、学校運営協議会委員、公民館長、主任児童委員、部活動指導員、各種社会教育団体代表、各種競技協会等の理事や代表、市役所職員

(4) 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア 子ども一貫教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月児訪問時や幼稚園・保育園の保護者会などの機会をとらえて、子育て応援BOOKを配付し、家庭と園で共通理解のもと、子育てを行う仕組みづくりを進めました。 ・ 教育懇談会では、講演や発表などを通して、愛着形成と子どもの発達や、部活動の地域移行とからの部活動の在り方について理解を深めることができました。教育懇談会終了後のアンケートでは、テーマについての理解が深まった等の肯定的な意見が多く寄せられました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの電子メディアの接触時間増加が、健全な成長に与える影響について一層の周知を図ります。 ・ 園、学校、地域、保護者との連携を密にした取組を今後もより一層拡充させ、子ども一貫教育への理解を深めていきます。 		

第2 0歳から18歳までの子ども一貫教育の推進

1 就学前教育の充実

- ① 家庭教育の充実・強化
- ② 乳幼児教室の充実

【基本方針】

愛着形成の重要性を家庭と共有し、より良く生きるための基礎を育てます。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6) ※	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
1日1回は、自分の子をほめる保護者の割合（4～6歳）	99.4% (R4)	99.0%	100.0%
子どもとふれあう努力をしている親の割合（4～6歳）	70.4% (R4)	70.0%	80.0%

※現状(R6)はアンケート未実施によるもの

(2) 施策の方向

ア 家庭教育の充実・強化

- 講演会、乳幼児健康診査などを通して、子育ての土台となる親子の愛着形成、自己肯定感を育む子育てを啓発します。
- 2か月児訪問や子育て支援センターでの積極的な声かけなどで、保護者の不安や悩みの把握に努め、解消を図ります。

イ 乳幼児教室の充実

- 愛着形成の重要性を共有し、家庭、地域と連携した教育を推進します。
- 幼稚園・保育園での遊びを中心とした生活を通して、発達に応じたきめ細やかな支援により、豊かな感性や道徳性、課題を解決する力の育成を図ります。

(3) 事業内容（主要事業）

ア 子ども一貫教育推進事業【再掲】

糸魚川市子ども一貫教育方針の中から家庭でできる子育ての方法やヒントを子どもの年齢別にまとめた「子育て応援BOOK」を作成し、「0～3才版」については2か月児訪問、「4～6才版」は幼稚園・保育園の入園の際などに配布しています。

また、各幼稚園・保育園での健康教室も開催し、糸魚川市子ども一貫教育方針における家庭の役割について理解を深めました。

イ 子育て支援センター運営事業【再掲】

未就園児とその保護者にとって交流の場としての機能を果たし、育児相談がしやすい環境となるよう努めました。

【子育て支援センターの利用状況】

区分	令和5年度	令和6年度
利 用 者 数	9,506人	9,028人

ウ 親子の絆応援事業【再掲】

0歳からの愛着形成推進のため、2か月児訪問、すこやか育児相談を開催し、具体的な育児方法の助言等を行いました。

中学生を対象に未来のパパママ応援事業や産婦人科医師、助産師を講師とした性教育を実施し、生命誕生の奇跡や命の大切さについて学ぶ機会を提供しています。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】

区分	令和5年度	令和6年度
母乳育児率（4か月未満児）	35.6%	35.6%
未来のパパママ応援事業	延312人	延313人
正しい性教育普及事業	延309人	延229人

(4) 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア 子ども一貫教育推進事業【再掲】	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
・ 2か月児訪問時や幼稚園・保育園の保護者会などの機会をとらえて、子育て応援BOOKを配付し、家庭と園で共通理解のもと、子育てを行う仕組みづくりを進めました。		
イ 子育て支援センター運営事業【再掲】	評 価	順調
【評価理由】		
・ 共働き等で早期に保育園へ預ける保護者が増えていますが、利用者はほぼ横ばいです。		

ウ 親子の絆応援事業【再掲】	評 価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none">・ 2か月児訪問や、すこやか育児相談等で母乳育児支援を継続し、母乳育児率は前年比と同水準でした。・ 正しい性教育普及事業、未来のパパママ応援事業の開催により、幅広い世代の方に愛着形成の重要性を理解していただきました。		

2 質の高い学校教育の推進

- ① 確かな学力の育成
- ② いじめや不登校のない学校づくりの推進
- ③ ジオパーク学習等による郷土愛の醸成
- ④ キャリア教育の推進
- ⑤ 一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実
- ⑥ 高校の魅力化推進

【基本方針】

家庭、幼稚園・保育園、学校、地域が連携して、自立して生きる力を身につけた子どもを育てます。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
標準学力検査の平均の偏差値（小学校）	50.2	53.0	54.0
標準学力検査の平均の偏差値（中学校）	48.0	51.5	52.0

(2) 施策の方向

ア 確かな学力の育成

- 学校と家庭が連携し、日々の授業改善や家庭学習習慣の定着によって、全国標準を常に上回る学力の定着を図ります。
- 児童生徒の実態に応じたきめ細やかな学習指導のため、人的配置等の必要な支援を実施します。

イ いじめや不登校のない学校づくりの推進

- いじめや不登校を生まない学校風土づくりのため、児童生徒の思いやりの心と、自ら考え行動する自主性を育む活動を推進します。
- 家庭や地域と連携して、地域全体で規範意識や自己有用感の向上、人間関係づくりの力等を育てる教育活動を推進します。

ウ ジオパーク学習等による郷土愛の醸成

- 地域の歴史、文化、自然、災害などを学びながら、ジオパーク学習を中心とした体験学習の充実を図り、防災意識を高めるとともに、ふるさとへの愛着と豊かな心を育みます。
- 自然災害や火災から自らの命を守る主体的な行動力を育成するため、家庭や地域と連携した取組を推進します。

エ キャリア教育の推進

- 児童生徒が社会人・職業人として成長するために、発達段階の特性に応じ、自分の可能性を自覚し、将来像を描いて自主的に学ぶ教育活動の更なる推進を図ります。
- 学校と地域や地元企業等が連携し、児童生徒の社会貢献活動や職場体験などの機会の充実を図ります。

オ 一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実

- 子どもの悩みや課題に応じた適切な指導や支援などにより、教育相談体制の充実を図ります。
- 学校の生活や学習に困り感を持つ子どもの個別ニーズに応じた支援体制の充実を図ります。

カ 高校の魅力化推進

- 地域と連携した質の高い探究学習の提供により、生徒が目指す進路を実現するなど、魅力ある高等学校の学びを実現します。
- 3高校それぞれの特色を生かした、事業の推進を図ります。

(3) 事業内容（主要事業）

ア 学力向上支援事業

児童生徒の学習意欲向上を図るため、標準学力検査(NRT)の実施や日本漢字能力検定、実用英語技能検定及び実用数学技能検定の検定料の補助を行いました。

小学校全校では陰山メソッドによる学力向上対策を実施しました。集中力と基礎学力の向上を図るとともに、全校で統一的な取組ができるよう小中学校教職員を対象に学力向上プロジェクト部会を2回開催しました。

また、全国学力・学習状況調査や標準学力検査(NRT)の結果を受けて、結果を分析し、改善方法を共有するために、研修会を開催しました。

ほかに、小中学校の希望校において、授業支援及び放課後や長期休業等を活用した補習学習等に係る指導員の配置事業を実施しました。

【検定料補助金交付者数】

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
日本漢字能力検定（小学生）	424人	379人	320人
日本漢字能力検定（中学生）	83人	100人	100人
実用英語技能検定（小学生）	51人	63人	40人
実用英語技能検定（中学生）	287人	285人	252人
実用数学技能検定（小学生）	8人	1人	3人

実用数学技能検定（中学生）	45人	40人	32人
---------------	-----	-----	-----

イ いじめ・不登校等防止対策事業

教育相談センターに教育相談員8人、適応指導教室指導員3人を配置し、児童生徒や保護者、教職員への相談活動等を行いました。

若者サポートセンターに4人のスタッフを配置し、利用者の社会的自立に向けた支援を行いました。

生徒指導支援員を4人任用し、いじめ・不登校防止に向けて、児童生徒への指導方法について各校を訪問し、教職員を指導しました。

ウ いじめ防止対策事業

いじめ問題専門委員会により改定した「糸魚川市いじめ防止基本方針」及び「糸魚川市いじめ防止等の行動計画」を令和6年4月から施行しました。いじめの未然防止に向けて、関係機関に周知しました。

前年度からのいじめ問題専門委員会により、令和6年9月に追加調査が行われました。また、新たないじめ問題に対し、令和7年2月に専門委員会の会議を開催しました。

全ての児童生徒を対象に、ハイパーQ-U検査を年2回実施し、各学校で結果を分析し、いじめや不登校の早期発見と予防に努めました。また、検査結果の見方や生徒指導への活用方法について、採用3年目未満の教職員を対象とした研修を行いました。

エ ふるさと糸魚川学習支援事業

幼稚園・保育園での自然体験活動や小・中学校における生活科と総合的な学習の時間において、地域に根差したふるさと糸魚川を学ぶジオパーク学習を実施し、学習の成果を発表する場として「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」を開催しました。市内全小学校の3年生若しくは4年生（複式学級は3・4年生）が発表を通して感想を交流し、互いの学びを共有しました。（参加児童273人）

オ キャリア教育推進事業

働くことの意義や自分自身の将来について考えることができるように中学2年生を対象に、職場体験活動を実施しました。各事業所等の支援のもと、生徒が意欲的に参加することができました。

カ 中学校キャリア教育フェスティバル事業

中学3年生を対象にした「キャリアフェスティバルいといがわ」は、総合体育馆を会場に、生徒約300人と教育関係者、市内外の56事業者から出展いただき、開催しました。

キ 地域愛育成事業

市内の小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域の連携を図りました。学校と地域がつながり、児童生徒が故郷への愛着を高めることができるように活動を支援しました。

ク コミュニティ・スクール運営事業

市内全学校でコミュニティ・スクールがスタートしてから5年が経過し、コミュニティ・スクールが果たす学校と地域の連携への理解が進んできています。

令和6年度は各学校の実情に合わせた連携を進めるため、学校運営協議会委員同士のコミュニケーションを深めることができるように、各コミュニティ・スクールを支援しました。

ケ 学校教育補助員等配置事業

特別支援教育における個別支援のため、学級数に応じて小学校に36人、中学校に11人、特別支援学校に4人、合計51人の教育補助員を配置しました。

学校司書は、糸魚川小学校（糸魚川地域）、田沢小学校（青海地域）及び能生小学校（能生地域）に1人ずつ計3人を配置し、読書量の増加や授業の充実のために図書館の活用を図りました。

コ 高校を核とした地域人材育成事業

市内3高校の魅力化を進めるため、高校魅力化コーディネーター5人体制で、各高校の探究学習サポート、自習室の運営、総合型選抜対策として講座運営、志望理由書添削、面接指導などを行いました。

また、探究学習や企業と連携した学外授業、各校の魅力づくりの取組に対して支援することを目的とした各高校を支援する団体（PTA等）への補助金交付や業務委託を行いました。

（4）評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア 学力向上支援事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校での糸魚川プランの取組を通して、基礎学力（計算や漢字学習等）の定着は図られていますが、思考・判断・表現力の低下がみられます。・ 児童生徒数は減少していますが、各種検定への受検者数は横ばいです。小学生の頃から受検している生徒が中学校でも積極的に受検しています。・ 小・中学校ともに本事業によって、補習及び学習支援の人材を活用する学校が増え、児童・生徒の個に応じた学習を行うことができました。		
<p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 糸魚川プランを任意の取組とし、主体的・対話的な学びを一層充実させま		

す。「授業改善チェックリスト」の日常的な活用とICTを活用した「分かる授業」の推進が進むように指導を継続します。		
イ いじめ・不登校等防止対策事業	評 価	遅れている
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 「市いじめ防止基本方針」及び「いじめ防止等の行動計画」等に基づき、いじめ防止に向けた取組について関係機関へ周知しました。 いじめや不登校の早期発見と解決に向けて、生徒指導支援員や教育相談員等との密接な連携により、学校と教育委員会が一体となって取組を進めています。 市適応指導教室と学校との連携により、市適応指導教室に通級する児童生徒への学習支援が充実しています。 高校生相当年代以上の若者及びその保護者を対象とした若者サポートセンターの活動を通して、中学校卒業後の若者への支援を行いました。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> いじめの重大化や不登校児童生徒の増加、長期化の未然防止のため、学校と市教育委員会間の早期報告・早期連携の体制構築に努めます。 		
ウ いじめ防止対策事業	評 価	遅れている
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 「市いじめ防止基本方針」及び「いじめ防止等の行動計画」の改定によって、小中学校では、いじめの未然防止に向けた意識を高めて生徒指導に努めることができました。 全ての児童生徒を対象に、ハイパーQ-U検査を実施することで、児童生徒の悩みや学級内の様子を把握することができ、いじめや不登校の早期発見や予防につながりました。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> 新たないじめや不登校を生まない未然防止策、いじめを重大化させないための的確な初期対応等、全教職員が意識を高めて児童生徒と向き合うよう指導・支援を継続します。 		
エ ふるさと糸魚川学習支援事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」は市内全小学校の3年生又は4年生が参加しました。ステージ発表を通して、感想を交流することにより、学びを深めました。また、保護者・地域の方など多くの方から見ていただきました。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> 園、小学校、中学校、高等学校での体系立った、より積極的なジオパーク学習を推し進めます。 		

オ キャリア教育推進事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学2年生の職場体験活動を実施しました。 ・ 小学校では講師を招いてのキャリア教育の講演や体験活動等が行われました。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校ともに、キャリア教育の視点でカリキュラムを見直し、教育活動を実践することで、自己の将来像を主体的に考え、夢をおこす力をつけていきます。 		
カ 中学校キャリア教育フェスティバル事業	評 価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学3年生を対象とした「キャリアフェスティバルいといがわ」は、市内事業者のキャリア教育への理解が深まるとともに、子ども一貫教育の重要な柱として位置付けることができました。 		
キ 地域愛育成事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と地域の連携強化のため、小中学校に活動推進員を配置しています。推進員を通して、学校行事等で地域の方がボランティアとして参加し、地域と学校がつながるようになってきています。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は、地域全体で子どもたちの成長を支える一体的な取組であることから、広報等で周知を図ります。 ・ より多くの地域の方から学校におけるボランティア活動に参加してもらえるような仕組みを検討します。 		
ク コミュニティ・スクール運営事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各コミュニティ・スクールにおいて、学校・家庭・地域で、情報、課題、目標、ビジョンなどを共有しながら、各学校の特色を生かした事業に自立的に取り組み、家庭・地域の理解を得ました。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も、学校運営協議会委員や保護者に学校活動への参画や教育懇談会等への参加等により学校教育への関心を深めてもらい、地域と学校が連携して子どもを育てる環境が整うよう支援を継続します。 		
ケ 学校教育補助員等配置事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立学校に教育補助員51人を配置し、各校の特別支援教育の充実に寄与し 		

ています。一方で、通常学級において特別な支援を要する児童生徒の増加が見られ、これらの子どもに対応する支援者を要します。

- ・ 学校司書を3地域に1人ずつ継続して配置し、定期的に担当地域の学校を巡回することにより、児童生徒が図書室を活用しやすい環境が維持され、教職員も学習に必要な情報を共有することができました。

【課題解決に向けた取組】

- ・ 支援を要する児童生徒の増加傾向、支援の必要度から、教育補助員の必要性を十分に検討した上で、今後も配置をしていきます。一方、通常学級在籍の児童生徒への支援のため、教育補助員の増員を要求していきます。
- ・ 学校司書の資質向上による図書館教育の充実に寄与するため、研修の機会の提供に努めます。

コ 高校を核とした地域人材育成事業	評 価	おおむね順調
-------------------	-----	--------

【評価理由】

- ・ コーディネーターは、子ども一貫教育で掲げる「自立」と「愛着」を育むために教員とは違った立場で生徒と対話し、基礎的・汎用的能力と郷土愛を兼ね備えた人づくりに取り組んでいます。
- ・ これまでの取組により、コーディネーターと学校間で信頼関係が築かれ、連携による探究学習の学び合いが活発化しており、自分の進路等に自信を持つ生徒が増えていると考えます。
- ・ 取組の評価、成果を客観的に評価する必要があります。

【課題解決に向けた取組】

- ・ 取組による評価、成果を客観的に評価できる仕組みを構築します。

3 学校教育環境の整備

- ① 教育環境の充実と教育施設の適正管理
- ② 安全・防犯対策の充実

【基本方針】

充実した教育環境と安全性を確保するために、施設の適正管理を進めます。また、より良い教育環境を確保するために、学校の適正配置方針を検討し、計画的な改修と施設・設備の更新により、安全・安心で快適な教育環境を整えます。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
校舎大規模改修の実施済み中学校数	1校/3校	1校/3校	2校/3校
学校トイレのドライ化率（トイレ室のドライ化割合）	63.2%	65.0%	70.0%
特別教室へのエアコン設置率	64.4%	66.3%	75.0%

(2) 施策の方向

ア 教育環境の充実と教育施設の適正管理

- 学校の適正規模や適正配置の検討を進め、学校適正配置方針を策定します。
- 学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設改修により、施設の適正管理に努めるとともに、時代に即応した教育環境を確保します。
- I C T 教育の推進を図るため、教職員に対する研修やサポート体制を整え、授業等での利用促進と、個別最適な学習、協働的な学習の推進につなげます。

イ 安全・防犯対策の充実

- いじめや不登校を生まない学校風土づくりのため、児童生徒の思いやりの心と、自ら考え行動する自主性を育む活動を推進します。
- 通学路での事故防止や防犯パトロールを継続し、地域やP T A、警察等関係機関との連携による情報共有に努め、安全対策や防犯対策を進めます。

(3) 事業内容（主要事業）

ア 学校改修事業

内容	事業費	説明
能生小学校改修工事	9,550 千円	給水設備改修工事
南能生小学校改修工事	4,963 千円	バリアフリー化（電気・機械設備）工事
	5,451 千円	バリアフリー化（建築）工事
糸魚川小学校改修工事	22,614 千円	特別教室間仕切設置（建築・電気）工事
	3,553 千円	特別教室間仕切設置（機械設備）工事
田沢小学校改修工事	34,100 千円	FF 暖房機更新工事
青海小学校改修工事	11,537 千円	特別教室等空調設備整備（機械設備）工事
	8,931 千円	特別教室等空調設備整備（電気設備）工事
糸魚川東中学校改修工事	16,261 千円	特別教室等空調設備整備（機械設備）工事
	6,120 千円	特別教室等空調設備整備（電気設備）工事
糸魚川中学校改修工事	12,271 千円	特別教室等空調設備整備（機械設備）工事
	4,120 千円	特別教室等空調設備整備（電気設備）工事

イ 学校ＩＣＴ環境推進事業

児童生徒に1人1台のタブレット端末を配備してから4年となり、学校での学習面では欠かせない学習用具となっており、その環境をサポートするためのデジタル教材やＩＣＴ支援員の配置、また使用に滞りがないよう、ネットワーク環境の管理・整備を行っています。

教職員の事務の効率化や省力化を図るため、校務支援システムや校務用パソコンを整備し、教職員が子どもたちに向き合う時間が増えるようにしています。

ウ 安全・防犯対策の充実

通学路の防犯パトロール員を81人委嘱し、登下校の安全確認を行い、通学路の危険箇所については、警察、道路管理者、教育委員会が連携して点検を行い、ホームページで周知を行いました。

(4) 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア 学校改修事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の適正配置方針を策定した後に、学校の老朽化に応じた改修を計画的に行い、長寿命化を図ります。 ・ 屋上防水や設備等の経年劣化が進んでいることから、状況に応じた修繕を実施し、児童生徒の安全確保を図っています。 ・ 学校のエアコン（冷房設備）設置は、特別教室では6割と進んでおらず、授業に支障があることから、学校の在り方を見据えた計画策定と設置が必要です。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全安心な学習環境が確保できるように施設の維持管理を行います。 ・ トイレの洋式化や空調設備の設置等など、感染症にも対応できるよう衛生環境の改善を図ります。 ・ 長寿命化のための改修は、老朽劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、計画的に実施します。 		
イ 学校ＩＣＴ環境推進事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末や大型モニターを使用した、子どもと教員の双方向の授業が進んでおり、子どもたちも興味関心をもって授業に取り組んでいます。 ・ デジタル教育が進むとともに、健全な利活用をするための情報モラル教育が必要ですが、十分に進んでいる状況とは言えません。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業でのＩＣＴ機器が円滑に利用できるよう、引き続きサポート体制を充実します。 ・ 児童生徒だけでなく、保護者、教職員への情報モラル、情報リテラシーへの理解を深め、安全安心にデジタル機器が使用ができるよう情報教育を行います。 		
ウ 安全・防犯対策の充実	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校区で防犯パトロール員を配置していますが、3校が未配置となっています。 ・ 通学路の危険箇所について、関係機関が連携して毎年確認を行っています。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロール員を確保するため、周知に努めます。 ・ 通学路の危険箇所については、学校や関係機関だけでなく、地域住民からも認識してもらうため、広く周知に努めます。 		

第3 生涯学習の振興

1 社会教育の振興

- ① 地域と連携した社会教育の推進
- ② 生涯学習機会の充実
- ③ 施設の適正管理と有効活用
- ④ 図書館サービスの充実

【基本方針】

市民一人一人の学びの機会、またその学びを活用する機会を充実させ、豊かな人生と持続可能な社会の実現を目指します。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
地域学校協働活動ボランティアを行う市民の割合	2.4%	3.0%	5.0%
図書館利用者数	50,912人	63,000人	85,000人
市民一人当たりの貸出冊数	4.3冊	5.3冊	5.5冊

(2) 施策の方向

ア 地域と連携した社会教育の推進

- 個人の学びを地域で活用する循環型の生涯学習社会の実現を図るため、地域の子どもの成長を育む地域学校協働活動や、地区と一体的に行う公民館活動など、幼少期から高齢期までの幅広い年代の人の地域の社会教育活動への参画の意欲を高め、地域と連携した公民館の運営体制について検討します。

イ 生涯学習機会の充実

- 正しい生活リズムの定着を主軸に、多様化する生活スタイルに対応した家庭教育支援を充実させます。
- 未来を担う子どもたちが、ふるさとでの豊かな将来を想像できるよう、地域の自然や魅力を生かした事業を提供し、郷土愛あふれる青少年を育成します。
- 情報化社会に求められる学習ニーズに対応し、人と人、人と地域の継続的なつながりを作る学習機会を提供します。
- 地域の人材を育むことを目的に、大人の学び直しを推進します。

ウ 施設の適正管理と有効活用

- 生涯学習センターや地区公民館などの施設の適正管理を行います。特に、地区公民館は、地域のコミュニティセンターとしての一面があることを踏まえ、機能充実を図るとともに、計画的な改修を実施します。
- 市民の声を聞きながら、新たな図書館のあり方について検討します。

エ 図書館サービスの充実

- 民間の活力やノウハウを活用し、効率的な運営や専門性の向上により、窓口サービスの充実を図ります。
- 利用者ニーズの把握に努め、図書や視聴覚資料など資料の充実を図ります。
- 第3次糸魚川市子ども読書推進計画に基づき、読書のきっかけとなる場や、本に親しむ機会を提供するための、環境整備や啓発活動を行います。
- 社会情勢の変化に対応し、新しい技術を取り入れた図書館サービスのあり方について検討を進めます。

(3) 事業内容（主要事業）

ア 地域愛育成事業【再掲】

市内の小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域の連携を図りました。推進員を配置していない学校は、公民館等を通じて地域との連携を図っています。

【地域愛育成事業参加者数】

区分	令和5年度	令和6年度
地域学校協働活動推進員	16人	16人
学校支援ボランティア（防犯パトロール含む）	17,193人	16,200人

イ 青少年活動事業

青少年の豊かな心、たくましく生きる力、郷土愛を育むことを目的とした交流を伴う体験学習事業を実施しました。小学生を対象としたキャリア教育の取組である「キッズフェスタ」は、学生ボランティアを活用したワークショップの運営などを行い、参加した小学生が実施しました。

高校生の地域に対するボランティア活動をコーディネートする「青春（アオハル）サポーター」では府内各課の事業や公民館事業と連携し、サポーター数が増加しました。

【青少年活動事業参加者数】

区分	令和5年度	令和6年度
ワクワク探検隊参加者数	延13人	延39人
キッズフェスタ参加者数	延109人	延100人
アオハル 青春サポーター	延99人	延122人
青海少年の家事業	延302人	延212人

ウ 家庭教育支援事業

就学時健診や移行学級の機会を活用して、保護者に向けて家庭教育の大切さを伝える講演会などを行う「子育て講座」、親子のふれあいや子どもたちの探求心、好奇心を育むことを目的に自然体験活動を行う「ふるさと楽習親子塾」、子どもの居場所づくりや家庭学習の習慣づけ、図書館の利用促進を目的として開設する「土曜自習室」、父親の子育て参加に取り組む「お父さんといっしょ」を開催しました。ほかには、生命の大切さや性についての正しい知識を知ってもらう「生命の安全教室」を開催しました。

【家庭教育支援事業参加者数】

区分	令和5年度	令和6年度
子育て講座（学童期・思春期・中学生等）	504人	291人
ふるさと楽習親子塾	117人	168人
土曜自習室	91人	125人
父親向け講座「お父さんといっしょ」	20人	14人
生命の安全教室	36人	12人
地区家庭教育支援事業	679人	290人

エ 成人教育事業

各種公民館行事や学び直し、人材育成事業を目的とした「おとのワクワク探検隊」、生涯学習講座では東京歯科大学と連携した「お口の健康教室」や、トランペル英会話、北前船と廻船問屋をテーマとした放送大学公開講演会等のほか、特に若者の交流を目的とした美山を活用したBBQガーデンを開催しました。

【成人教育事業参加者数】

区分	令和5年度	令和6年度
おとのワクワク探検隊	5人	中止

その他生涯学習講座 (R6 ト ラベル英会話、お口の健康教室、BBQガーデン、リース教室、放送大学講座)	242人	237人
---	------	------

オ 成人式事業

民法の改正により、成人年齢が18歳に引き下げられたことから、市内の18歳を対象とした新成人を祝う事業を実施しました。令和5年度から2回実施しましたが、参加した新成人は少数にとどまっています。

【成人式事業に参加した新成人の数】

区分	令和5年度	令和6年度
成人式事業（新成人を祝う集い）	43人	21人

カ 地区公民館施設整備事業

内容	事業費	説明
木浦地区公民館整備	140,220千円	工事監理業務委託 新築工事
地区公民館エアコン更新	3,148千円	上南、小泊、上早川

キ 図書館資料整備事業

図書（3,735冊）の購入により図書館資料の充実に努めました。

「うちどくブックリスト」を作成したり、「図書館福袋（おすすめ本のセット）」を貸し出したりするなど、利用者に興味を持ってもらう取組を進めました。

また、広報やホームページで新刊図書の紹介を掲載し、情報発信に努めました。

【市民図書館蔵書冊数】

区分	令和5年度	令和6年度
市民図書館	112,068冊	113,410冊
能生図書館	57,093冊	57,994冊
青海図書館	78,610冊	79,487冊
3館合計	247,771冊	250,891冊

ク 絵本ふれあい事業

子どもと保護者が絵本を通して楽しい時間を過ごすことを目的に「絵本のプレゼントと読み聞かせの啓発」を行うブックスタート事業を拡充し、これまでの10か月児健診時に加え、2歳児健診時、母子手帳交付時にも実施しました。

また、親子で絵本に触れ合う機会として、絵本作家の岡村志満子さんを講師に

招いたワークショップイベントを開催しました。絵本の読み聞かせやポップアップカード作りを通して、絵本の楽しさや魅力を伝えました。

【絵本ふれあい事業参加者数等】

区分	令和5年度	令和6年度
ブックスタート参加者数	131人	422人
絵本作家による絵本ふれあい講演会	83人	47人
図書館における絵本の貸出冊数	34,420冊	34,474冊

(4) 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア 地域愛育成事業【再掲】	評価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携強化のため、小中学校に活動推進員を配置しています。推進員を通して、学校行事等で地域の方がボランティアとして参加し、地域と学校がつながるようになってきています。 		
イ 青少年活動事業	評価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は、地域全体で子どもたちの成長を支える一体的な取組であることから、広報等で周知を図ります。 より多くの地域の方から学校におけるボランティア活動に参加してもらえるような仕組みを検討します。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> 自然体験事業「ワクワク探検隊」は、青少年の自然体験等を指導する市民団体である「糸魚川アクトキッズ」へ委託し、事業を実施しました。 職業体験事業「キッズフェスタ」は市内外の事業者・技術者の協力を得て、多種多様な職業体験を行うことができました。 「青春（アオハル）サポーター」は広く認知されてきており、毎年学生ボランティアの参加が増加しています。 「新成人を祝う集い」は、県出身の有名人を講師として記念講演を行いましたが、新成人の参加が非常に少なく内容の再検討が必要です。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> 自然体験活動を通じて、青少年一人一人が考える力や生きる力、最後まで頑張る力を身につけられるような事業を展開します。 「キッズフェスタ」は、より多くの方が参加しやすくなるよう日程の調整及びアンケート結果を生かした講師の選定など内容の改善を図ります。 		

<ul style="list-style-type: none"> 「青春（アオハル）サポーター」は、今後も高校生の社会参加と世代間交流、自己肯定感の向上に向けて拡大を図ります。 「新成人を祝う集い」はこれまでの集会形式にとらわれず、お祝いメッセージの送付や役立つ情報や注意喚起など、新成人を祝福するとともに必要な情報をリリースする内容としていきます。

ウ 家庭教育支援事業	評 価	おおむね順調
------------	-----	--------

【評価理由】

- 「ふるさと楽習親子塾」は、親子で参加することで、親子の絆を深めるとともに、ふるさとの自然について学ぶことで、自分が住んでいる地域の良さを発見することにもつながっています。
- 「土曜自習室」は、能生地域では参加者がいませんでした。また、糸魚川と青海地域でも参加者が減少しています。
- 「お父さんといっしょ」は、生活リズムの定着と、母親と比べて一緒に過ごす時間が少ない父親とのつながりを深めることを目的に、夏休みと冬休みに実施しました。

【課題解決に向けた取組】

- 「土曜自習室」は地域や支援員の協力を得ながら、引き続き実施していくとともに、利用の促進と周知を図るために情報発信を行います。能生地域は夏休みと冬休みに自習室を設置して事業を実施します。
- 家庭教育の基本は「生活リズムの定着」と「家族のふれあい」が重要だと考え、親子で参加できる「ふるさと楽習親子塾」及び家庭教育の大切さを学ぶ「子育て講座」等を引き続き実施していきます。

エ 成人教育事業	評 価	おおむね順調
----------	-----	--------

【評価理由】

- 生涯学習講座は多様な学習機会を提供しましたが、参加者のほとんどが高齢者層で、若い世代の参加者を増やせていないと感じています。

【課題解決に向けた取組】

- 若い世代のニーズをつかんだ講座を検討・企画していきます。

オ 成人式事業	評 価	遅れている
---------	-----	-------

【評価理由】

- 令和5年、6年と実施しましたが、市内の新成人の数に比べて参加した新成人の数が非常に少なかったと感じました。

【課題解決に向けた取組】

- 今まで行った取組を見直し、新成人が興味持てる内容で見直しを図ります。

力 地区公民館施設整備事業	評 價	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 木浦地区公民館は令和6年度に新築工事が終了し、令和7年度から供用を開始しました。 公民館のエアコンは更新時期を確認しながら、今後も計画的に更新を行っていきます。 		
キ 図書館資料整備事業	評 價	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> おすすめ図書のリストを作成したり、貸出しセットを作ったりすることで、新たな本との出会いを創出しました。 民間業者のノウハウを活かし、図書館資料の情報の鮮度を保てるよう、効果的な図書の購入と廃棄を行いました。 中高生の利用が少ないため、利用促進のための取組の検討が必要です。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き資料の充実と適正な入替えを図り、利用者の視点に立った魅力的な書架づくりに努めます。また、新たな利用者の確保と利用促進につながる取組を行っていきます。 		
ク 絵本ふれあい事業	評 價	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業は、内容を拡充し、絵本を通じた親子の触れ合いや就園前の継続的な支援を目的として、「プレブックスタート」と「セカンドブックスタート」を始めました。利用者アンケートでは、ブックスタートの本を活用しているといった回答が見られましたが、回答率が低かったため、より多くの回答を得られる手法を検討し、取組の効果を検証します。 絵本作家によるワークショップは、講師の指導のもと、本格的なポップアップカード作りに親子で熱中する姿が見られました。今後は費用対効果を検証するとともに、地元に縁のある作家に講師を依頼するなど、絵本作家を身近に感じることができ、親子で絵本に親しめる事業となるように内容を検討します。 		

2 スポーツの振興

- ① スポーツを通した健康づくりの推進
- ② 競技スポーツの振興
- ③ 施設の適正管理と環境整備

【基本方針】

夢と希望を与えることができるスポーツを通じ、健康づくりや生きがいづくりの市民意識の高揚を図るとともに、スポーツの魅力向上を目指します。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
一人の市民が公の施設でスポーツ活動を行う回数	6.2回	6.8回	9.9回

(2) 施策の方向

ア スポーツを通した健康づくりの推進

- 軽スポーツ等に親しめる機会を提供し、健康寿命の延伸と仲間づくりを進めます。
- 「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽にスポーツに親しみ、人との交流を促進するスポーツサークル等の活動を支援します。

イ 競技スポーツの振興

- スポーツ協会等への支援を行い、様々なジャンルのスポーツで質の高い指導が可能となるよう、各種競技団体とも協働して講習会や研修会を行うとともに、他市のスポーツ協会とも連携して、競技力の向上を目指します。
- 指導者講習の実施により、選手の育成や競技力の向上に向けた取組を進めます。

ウ 施設の適正管理と環境整備

- 使用状況等を勘案し、効果的な整備・管理に努めます。

(3) 事業内容（主要事業）

ア スポーツ推進事業

いきいきスポーツ教室、市民スポーツ教室、地区スポーツ教室や水泳教室を実施し、気軽に参加できる環境づくりに努めました。

冬季スポーツ振興助成事業として、子どものリフト乗車料金の助成を実施し、スキー等のウインターランドスポーツに親しむ機会を増やす支援を実施しています。

市民総合体育祭、駅伝大会及びスキーワークショップを実施し、市民の参加と各種団体等と連携した取組を実施しました。

全国大会等出場者激励金を団体14件、個人39件、合計53件交付しました。その内訳は小・中学校29件、高校7件、小・中・高校1件、一般16件です。

そのほかに、中学校軟式野球大会の開催支援やジュニアスポーツ指導者資格取得支援（11件）を行いました。

また、市民がスポーツに親しめる環境づくりとして、いきいきスポーツ教室、市民スポーツ教室等を開催しました。

国が進める「部活動改革」及び「中学校部活動の段階的な地域展開」の取組に関しては、大学教授等有識者、学校関係、競技団体、文化芸術団体、PTAなど外部委員による検討委員会を開催し、地域クラブへの支援内容等の検討を進め、12種目17クラブが地域クラブ活動を行っています。

【各種スポーツ教室開催状況】

区分	令和5年度	令和6年度
いきいきスポーツ教室 種目数、延べ受講者数	3種目 235人	14種目 295人
市民スポーツ教室 種目数、延べ受講者数	11種目 181人	11種目 145人
地区スポーツ教室 地区数、延べ受講者数	7地区 791人	4地区 745人
市主催水泳教室 講座数、延べ受講者数	2講座 31人	2講座 22人
地区スポーツトライアル事業 種目数、延べ受講者数	2地区8種目 4,380人	令和6年度 から廃止
冬季スポーツ振興助成事業 助成件数	3,112件	4,995件
海洋スポーツ普及振興事業 参加者数	40人	15人

イ 体育団体等支援事業

糸魚川市スポーツ協会、ジュニア育成団体に補助金交付による支援を行いました。（競技種目別団体30団体、学校体育団体5団体）

【スポーツ協会加盟状況】

区分	令和5年度	令和6年度
加盟団体数	35団体	35団体
加盟者数	5,954人	5,725人
ジュニア補助団体数	46団体	40団体

ウ スポーツ施設整備事業

内容	事業費	説明
美山テニスコート人工芝改修工事	20,829千円	人工芝張替工 砂入り人工芝工
美山球場内野門扉改修工事	7,920千円	内野門扉改修
【R5から繰越】 能生B & G 海洋センターパーク上屋 解体工事	8,359千円	上屋鉄骨解体工事
【R5から繰越】 美山第1駐車場災害復旧工事	6,880千円	ふとんかご工 盛土法面整形工 L型側溝改修 L型側溝用集水溝設置
【R5から繰越】 美山球場バックスクリーン改修工事	17,380千円	パネル改修

【体育施設利用状況】

区分	令和5年度	令和6年度
施設数	31施設	31施設
利用団体数	11,797団体	9,972団体
利用者人数	165,463人	149,117人

【学校施設利用状況】

区分	令和5年度	令和6年度
開放施設数	19施設	19施設
利用団体数	4,655団体	5,244団体
利用者人数	80,133人	90,084人

(4) 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア スポーツ推進事業	評価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室やスポーツ大会の開催を通して、広く競技スポーツに親しめる場を提供しました。 地域住民が主体となって、いつでも・どこでも・だれでもがスポーツを通じた健康づくりに取り組める環境を目指し、府内関係課、学校・保育園と連携したニュースポーツの体験、軽運動の出前講座を開催しました。 利用希望が重複する施設は、曜日や時間帯を調整して、有効利用を図りました。また、市立小中学校及び高等学校と連携した学校施設の開放によ 		

り、有効利用と利用者の希望に沿った活動の場の提供に努めました。

- ・ 国が示す「中学校の部活動改革」及び「中学校部活動の段階的な地域移行」の方針に則し、市立中学校の休日の部活動の段階的な地域移行に向けた体制づくりとして、有識者を含めた外部委員による検討委員会を開催し、必要な対策の検討を行っています。

【課題解決に向けた取組】

- ・ 競技スポーツ等の振興及び推進に対し、高齢化や人口減少の影響による指導者数の減少傾向があり、今後の指導者の育成・確保に向けた研修会や資格取得費用の支援を図ります。
- ・ ニュースポーツ、軽運動などの市民スポーツ教室や、出前講座等を開催し、生涯スポーツの振興と市民が広くスポーツに親しめる環境づくりを引き続き進めます。
- ・ 競技スポーツ・生涯スポーツ団体、ジュニア育成団体など、地域で活躍するスポーツ団体のネットワークづくりを図り、地域が主体となったスポーツ推進体制づくりを進めます。

イ 体育団体等支援事業	評 価	おおむね順調
-------------	-----	--------

【評価理由】

- ・ 加盟団体の会員数は減少傾向にあるものの、団体数は維持しています。
- ・ 多種目で全国大会等の上位大会での活躍が見られました。
- ・ 各加盟団体においては活発に活動していますが、スポーツ協会全体の一体的な活動に苦慮しています。

【課題解決に向けた取組】

- ・ 競技力向上やスポーツ指導者の養成とその資質向上を目指すため、上部団体やスポーツ協会及び加盟団体と今後も連携を図っていきます。
- ・ 指導者を対象にした講習会の開催による資質向上や、自主自立を見据えたスポーツ協会の事業評価や連携方法を検討します。

ウ スポーツ施設整備事業	評 価	順調
--------------	-----	----

【評価理由】

- ・ 国の交付金等を活用し、公園スポーツ施設のうち、美山テニスコート、美山球場の改修工事を行いました。
- ・ 能生B & G海洋センタープールの上屋解体工事を行いました。今後、学校の在り方検討に合わせて、施設の活用方法を検討していきます。
- ・ 総合体育館及び能生体育館の照明をLED化しました。今後、その他屋内施設及び屋外ナイター照明のLED化や長寿命化に向けた施設の計画的な改修を進めていきます。

【課題解決に向けた取組】

- ・ 施設の老朽化や耐用年数経過による修繕費用等も増加しており、施設数も

多いことから、今後の施設整備・改修については、人口減少に伴う利用者の動向に応じた集約化も見据え、計画的に取り組みます。

第4 文化的振興

1 芸術文化的振興

- ① 市民の芸術文化活動への支援
- ② 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供
- ③ 文化施設の有効活用

【基本方針】

市民の心の豊かさを育むため、芸術文化的振興を図ります。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
年間市民一人当たりの文化事業参加回数 ※1	0.4回	1.0回	1.5回
年間市民一人当たりの文化施設利用回数 ※2	2.1回	1.9回	2.4回

※1 美術展や文化ホール事業等、市が関連する文化事業の参加者数／人口

※2 糸魚川市民会館、青海総合文化会館、ビーチホールまがたま、能生マリンホールの利用者数／人口

(2) 施策の方向

ア 市民の芸術文化活動への支援

- 市民の主体的な芸術文化活動を支援し、若い年齢層を含む多様な世代間の交流を図ります。
- 学校や市民団体などと連携し、郷土にゆかりのある文化人の顕彰などにより、文化の振興と郷土愛の醸成を図ります。

イ 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供

- 心豊かな市民生活のため、音楽コンサートや演劇、美術展など優れた芸術文化に触れる機会を提供します。
- 学校をはじめ、市民団体や地域等と連携しながら、若い世代が文化に親しむ機会を設けます。
- 集客型事業のほか、メディアの活用やアウトリーチなど、多様な手法で鑑賞機会を提供します。

ウ 文化施設の有効活用

- 市民会館などの文化施設については、引き続き多くの方から様々な文化活動に

- 利用されるように努めます。
- 文化施設の利便性や効率性を考慮しながら、計画的に改修整備します。

(3) 事業内容（主要事業）

ア 文化活動支援事業

市民の自主的な鑑賞事業の実施を支援することにより、優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図るための支援制度です。

【文化活動支援事業支援状況】

区分	令和5年度	令和6年度
支援件数	2件	1件
補助額	892,000円	373,000円
入場者数	784人	282人

イ 文化協会支援事業

補助金による支援及び人的支援（事務局代行）を行いました。10月に会員研修、11月に「ささゆり茶会」、3月に「文化協会フェスティバル」を実施しました。

【事業実施状況】

区分	令和5年度	令和6年度
会員数	112団体 2,379人	112団体 2,329人
事業数（総合）	4件	5件
事業数（部会）	5件	6件
参加者数	1,959人	2,301人

ウ 相馬御風顕彰事業

短歌大会と俳句大会を隔年開催し、令和6年度は短歌大会を開催しました。

【短歌・俳句大会実施状況】

区分	令和5年度	令和6年度
応募人数	2,366人	1,879人
応募作品数	俳句 2,812句	短歌 2,263首

※令和4年度短歌大会の実績 応募人数1,766人 応募作品数2,072首

エ 美術展覧会事業

糸魚川市美術展覧会（市展）及び市展賞作品展、青海美術展、能生作品展を実施、市制施行20周年記念「回想まち風景写真展」、画廊きららでは常設展示を行いました。

また、市展の出品数が減少傾向にあることから、創作体験の場を設けることで関心を高めることをねらい、芸術文化活動体験教室（初心者向けの写真教室）を実施しました。

【美術展覧会・作品展・美術展等実施状況】

区分	令和5年度	令和6年度
入場者数	2,652人	2,378人
作品数	605点	577点

オ 鑑賞推進事業

優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供するとともに、市民参加型事業をはじめ、老若男女を問わず鑑賞可能なジャンルの公演事業充実を図りました。

【鑑賞推進事業実施状況】

区分	令和5年度	令和6年度
事業数	26回	22回
鑑賞者数	8,190人	9,250人

カ 文化ホール施設改修事業

老朽化、経年劣化による不具合が多くなっており、利用者の利便性を確保するため、優先度の高い施設の改修工事を行いました。

【青海総合文化会館施設改修事業】

内容	事業費	説明
空調設備改修工事	51,150千円	吸収式冷温水機と各種ポンプの更新

(4) 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア 文化活動支援事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 申請者が固定化されてきているという課題があります。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新規利用意向のある団体の相談に応じていきます。 		
イ 文化協会支援事業	評 価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 事業数の復調が見られ、特に、コロナ禍等で4か年行えなかった「会員研修」を再開できました。また、高齢化で団体存続、運営の後退が進む中、活動意欲を失わないよう助言等を行いました。 		
ウ 相馬御風顕彰事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 応募数は、一般の部は増加傾向、児童・生徒の部は少子化が進む中でも平年並みです。 インターネットを用いた作品募集を実施し、全国から広く応募があります。 相馬御風の業績周知の効果は薄くはありますが、御風が求めた愛郷心の醸成、文芸の推進という点で貢献できています。 指導者、地元選者の高齢化が進み、市内学校で「短歌、俳句教室」等の実施が困難になっています。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が俳句・短歌に関心や親しみを持ち、将来の指導者育成（御風顕彰）につながるよう取組を継続します。 		
エ 美術展覧会事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 展覧会は、来場者アンケートでおおむね好評を得ています。 人口減や自己表現方法の多様化などにより、入場者数、出品数が減少傾向にあり、出品者の高齢化や固定化も課題となっています。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> 市展では何かしらのコラボ展示など関心を高め、来場者を増やす方策を検討します。 引き続き若年層が感じている“出品へのハードル”解消の効果を期待し、教室を開催します。 		

才 鑑賞推進事業	評 価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「NHKのどじまん」を招致することができました。 ・ 特に近年では、女性と子どもをターゲットとした事業展開をするよう努めています。また、事業ごとの来館傾向を分析することでニーズ把握に努めています。 ・ 市内への経済効果を期待し、民間の旅行商品とのコラボ（舞台鑑賞後に夕食と温泉等）企画、広告冊子のチケットプレゼント企画に協力するなど、取組を多様化して集客を進めています。また、公演日調整にも留意しています。（例 「バル街」等、街中の動きにあわせたコンサート） 		
力 文化ホール施設改修事業	評 価	遅れている
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民会館を除く市内3か所のホールは、老朽化、経年劣化により、改修や修繕、更新が必要となっており、計画的な改修工事を実施するため年次計画を立てて取り組んでいます。 ・ 近年、保守点検等で複数の要修繕箇所が指摘されていますが、突発的な修繕も含めて多額な費用を要することから、計画どおりに進んでいません。 ・ 施設の長寿命化を念頭に、予防保全的な改修や修繕を計画するものの、財政計画との兼ね合い等から計画どおりに進んでいません。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐用年数を経過した施設の予防保全的な修繕、改修を行うことを念頭に置きつつ、財政計画を考慮しながら優先順位を決めて、対応を進めます。 		

2 歴史・文化の継承と活用

- ① 文化財の保存と活用
- ② 伝統文化の継承と活用
- ③ 文化財の適正収蔵と公開の強化
- ④ 博物館施設の充実と活動の推進

【基本方針】

ふるさと糸魚川に誇りを持ち愛する心を育むため、文化財や伝統文化の保存と活用を図ります。

(1) 施策指標

指標	現状 (R6)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
博物館・資料館入館者数	101,099人	70,000人	100,000人

(2) 施策の方向

ア 文化財の保存と活用

- 令和5年度に策定した「糸魚川市文化財保存活用地域計画」に基づき、市民、事業所、行政の協働といった「地域総がかり」により文化財を守り、活用し、伝える体制を築くとともに、歴史・文化による魅力ある地域づくりを行うための施策を推進します。

イ 伝統文化の継承と活用

- 伝統文化を次世代に継承できるよう、講座等学習の場の提供、映像記録の収集と活用を行うとともに、地域及び同様の文化財継承団体との連携、協力体制の構築を図り、伝承・保存活動を支援します。

ウ 文化財の適正収蔵と公開の強化

- 文化財を適正に保存・活用するため、展示や収蔵、管理運営方法を見直し、既存施設の有効活用等の検討を進めるとともに、計画的な企画展、特別展、巡回展の開催などによる指定文化財の積極的な公開と解説の機会を増を図ります。

エ 博物館施設の充実と活動の推進

- フォッサマグナミュージアムや長者ヶ原考古館において、糸魚川の貴重な自然・文化資源や資料を研究・収蔵し、その成果を展示・教育活動を通じて分かりやすく発信します。
- フォッサマグナパークの断層露頭の保全と枕状溶岩の野外展示の改良を行い、

周辺の自然・文化資源との回遊性を考慮した保全と整備を進めます。

(3) 事業内容（主要事業）

ア 国指定文化財整備事業

対象事業なし

イ 埋蔵文化財発掘調査事業

試掘確認調査を4か所（蓮台寺、寺町ほか）で行いました。

【試掘確認調査】

区分	令和5年度	令和6年度
遺跡・地点数	4か所	4か所
調査規模	69m ²	150m ²

ウ 埋蔵文化財保存・活用事業

対象事業なし

エ 文化財保護事業

【文化財管理・調査・継承】

区分	令和5年度	令和6年度
表示物（標柱・解説版）設置数	0件	0件
調査・記録	1件	1件
助成件数	1件	1件

【ジオパーク歴史講座・市内遺跡講座】

区分	令和5年度	令和6年度
講座数	9講座	8講座
聴講者数	248人	221人

オ 博物館活動推進事業

(ア) 展示活動

内容	会期・会場	説明
【日本ジオパークネットワーク巡回展】「地球時間の旅」	3月2日～4月21日 研修室	日本の成り立ちと関連した生態系や文化・歴史をテーマとした巡回展示。全国の

		ジオパークや博物館から収集した資料を展示
【ミニ展示】「ヒスイと同じくらい珍しい石」－コランダムとコスモクロア－	4月27日～5月26日 ふるさと展示室	市民が海岸でみつけたコランダムとコスモクロアを展示
【特別展】「焼山噴火50年生きている火山と私たち」	8月4日～9月29日 研修室	1974年の噴火から50年を迎えるに当たり、焼山にかかる「人」にクローズアップする展示
【ミニ展示】佐渡金山の金鉱石	8月4日～9月29日 ふるさと展示室	世界遺産委員会による「佐渡の金山」の審査が迫っていることを受け、佐渡と糸魚川の金鉱石を展示
【ミニ展示】「貫通石」	1月5日～3月23日 ふるさと展示室	トンネル開通地点の石「貫通石」を展示
【ミニ展示】「石の見立て雛、姫川東西の見立て雛」	2月22日～3月9日 ふるさと展示室	糸魚川市横町の大日方勝氏が長年収集した水石・美石のうち糸魚川産の石、お雛様に見立てた石を展示

(イ) 教育普及研究活動

区分	令和5年度	令和6年度
ジオパーク野外講座	6回 76人	5回 49人
ジオパーク講座	4回 85人	3回 32人
記念講演会	5回 330人	3回 122人
おもしろみゅーじあむ	7回 588人	5回 75人
ジオパーク関係講座	5回 84人	3回 85人
石のガイド養成講座	20回 205人	14回 104人
学校教育との連携	110回 4,613人	119回 4,723人
公民館等への出前講座	91回 3,726人	133回 4,606人
調査研究活動（学会発表含む。）	30回	31回

カ フォッサマグナパーク整備事業

内容	事業費	説明
フォッサマグナパーク駐車場造成工事	10,095千円	面積：382.3 m ² 駐車区画：普通車11台

(4) 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

ア 国指定文化財整備事業	評 価	一
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 対象事業がなかったため、評価しません。 		
イ 埋蔵文化財発掘調査事業	評 価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 近年、減少傾向にありますが、開発に伴う法令行為については、円滑に事業を推進しています。 埋蔵文化財の適切な保存のため、開発行為等の情報収集と円滑で効果的な事業を継続して実施します。 民間宅地造成事業の量に伴い、調査量が変化しますので、引き続き状況に応じて実施します。 		
ウ 埋蔵文化財保存・活用事業	評 価	一
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 対象事業がなかったため、評価しません。 		
エ 文化財保護事業	評 価	おおむね順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 文化財所有者の名前や住所、情報発信の意向、文化財の保存状態等を把握し、台帳整備や施策の展開に活用するため、文化財所有者アンケートを実施しました。 文化財所有者等がブログ等により文化財の情報発信を行い、関係人口や交流人口の拡大につなげることを目的に、文化財等情報発信力向上セミナーを実施しました。 ジオパーク歴史講座、市内遺跡講座を開催し、糸魚川の歴史や相馬御風、文化財の魅力の啓発を図りました。 		
【課題解決に向けた取組】		
<ul style="list-style-type: none"> 今後、収蔵庫のあり方や文化財所有者への支援のあり方について検討いたします。 		
オ 博物館活動推進事業	評 価	順調
【評価理由】		
<ul style="list-style-type: none"> 新潟県の石に指定されたヒスイをはじめとする糸魚川の多様な石をテーマとした特別展を開催し、石への興味・関心の喚起を図りました。 ジオパーク講座、ジオパーク野外講座、石のガイド養成講座などを開催し、教育普及活動に取り組み、文化資源の理解促進を図りました。 		

カ フォッサマグナパーク整備事業	評 価	順調
【評価理由】		
・ 来場者の利便性向上を目的に国道側の駐車場を拡張するため、造成工事を実施し、供用を開始しました。		

事業評価一覧

第1 子どもを産み育てやすい環境の整備

施策	主要事業	評価	頁
1 妊娠出産支援と親子の健康増進	ア 妊娠アシスト事業	順調	9
	イ 親子の絆応援事業	順調	9
	ウ 妊産婦支援事業	順調	9
	エ 産前・産後サポート事業	順調	10
	オ 産後ケア事業	順調	10
	カ 乳幼児すこやか事業	順調	10
	キ 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	順調	10
	ク 親子食育推進事業	順調	11
2 子育て支援の充実	ア 子育て支援センター運営事業	順調	15
	イ 子ども医療費助成事業	順調	15
	ウ 特別保育事業	順調	15
	エ 休日お助け保育事業	順調	15
	オ 病児保育事業	順調	15
	カ 学童保育事業	順調	15
	キ ファミリーサポートセンター事業	おおむね順調	15
	ア 子ども一貫教育推進事業	おおむね順調	17
3 子どもと子育てにかかる連携の推進			

第2 0歳から18歳までの子ども一貫教育の推進

施策	主要事業	評価	頁
1 就学前教育の充実	ア 子ども一貫教育推進事業【再掲】	おおむね順調	19
	イ 子育て支援センター運営事業【再掲】	順調	19
	ウ 親子の絆応援事業【再掲】	順調	20

2 質の高い学校教育の推進	ア 学力向上支援事業	遅れている	24
	イ いじめ・不登校等防止対策事業	遅れている	25
	ウ いじめ防止対策事業	遅れている	25
	エ ふるさと糸魚川学習支援事業	おおむね順調	25
	オ キャリア教育推進事業	おおむね順調	26
	カ 中学校キャリア教育フェスティバル事業	順調	26
	キ 地域愛育成事業	おおむね順調	26
	ク コミュニティ・スクール運営事業	おおむね順調	26
	ケ 学校教育補助員等配置事業	おおむね順調	26
	コ 高校を核とした地域人材育成事業	おおむね順調	27
3 学校教育環境の整備	ア 学校改修事業	おおむね順調	30
	イ 学校 I C T 環境推進事業	おおむね順調	30
	ウ 安全・防犯対策の充実	おおむね順調	30

第3 生涯学習の振興

施策	主要事業	評価	頁
1 社会教育の振興	ア 地域愛育成事業【再掲】	おおむね順調	35
	イ 青少年活動事業	おおむね順調	35
	ウ 家庭教育支援事業	おおむね順調	36
	エ 成人教育事業	おおむね順調	36
	オ 成人式事業	遅れている	36
	カ 地区公民館施設整備事業	順調	37
	キ 図書館資料整備事業	おおむね順調	37
	ク 絵本ふれあい事業	順調	37
2 スポーツの振興	ア スポーツ推進事業	おおむね順調	40
	イ 体育団体等支援事業	おおむね順調	41
	ウ スポーツ施設整備事業	順調	41

第4 文化的振興

施策	主要事業	評価	頁
1 芸術文化の振興	ア 文化活動支援事業	おおむね順調	46
	イ 文化協会支援事業	順調	46
	ウ 相馬御風顕彰事業	おおむね順調	46
	エ 美術展覧会事業	おおむね順調	46
	オ 鑑賞推進事業	順調	47
	カ 文化ホール施設改修事業	遅れている	47
2 歴史・文化の継承と活用	ア 国指定文化財整備事業	—	51
	イ 埋蔵文化財発掘調査事業	順調	51
	ウ 埋蔵文化財保存・活用事業	—	51
	エ 文化財保護事業	おおむね順調	51
	オ 博物館活動推進事業	順調	51
	カ フォッサマグナパーク整備事業	順調	52